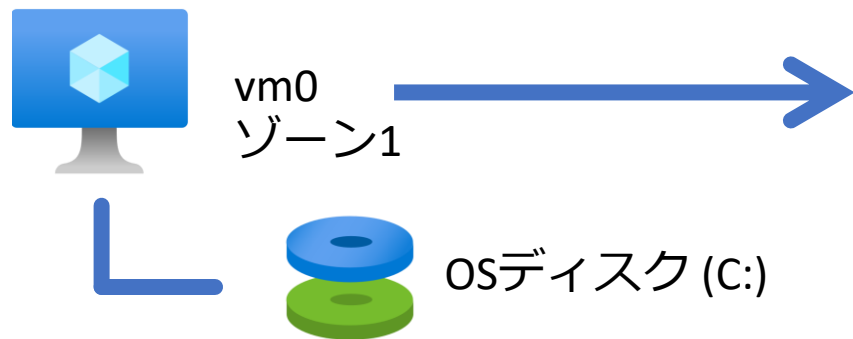
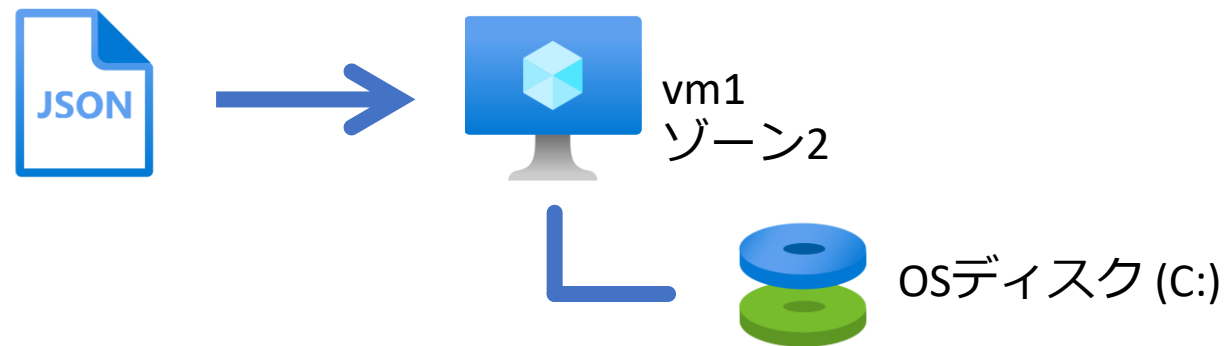


ラボ8（環境11番） タスク1：VMの作成

(1) Azure portalを使用して
VM0を作成

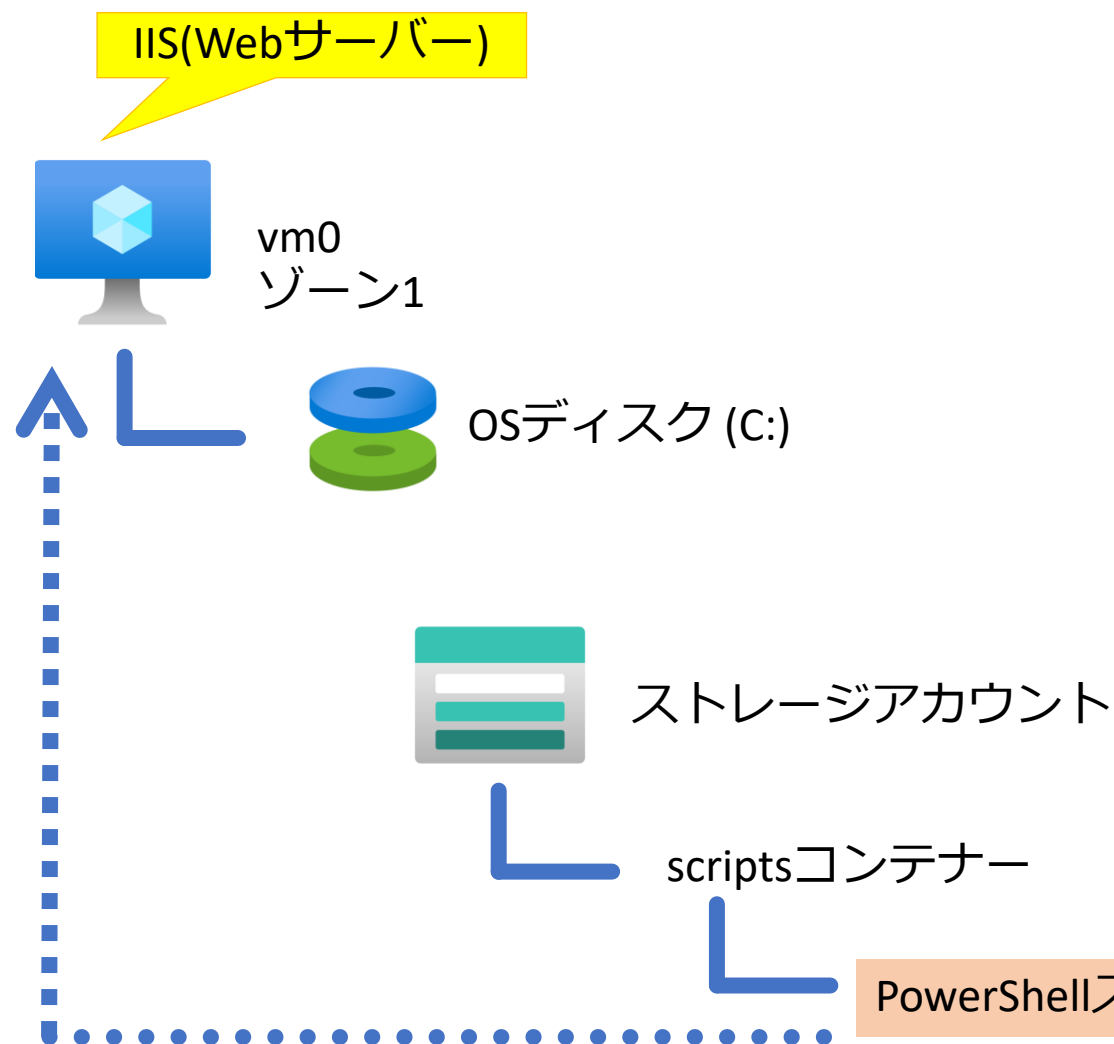


(2) ARMテンプレート(vm0作成時に作成されたもの)
を使用してVM1をデプロイ

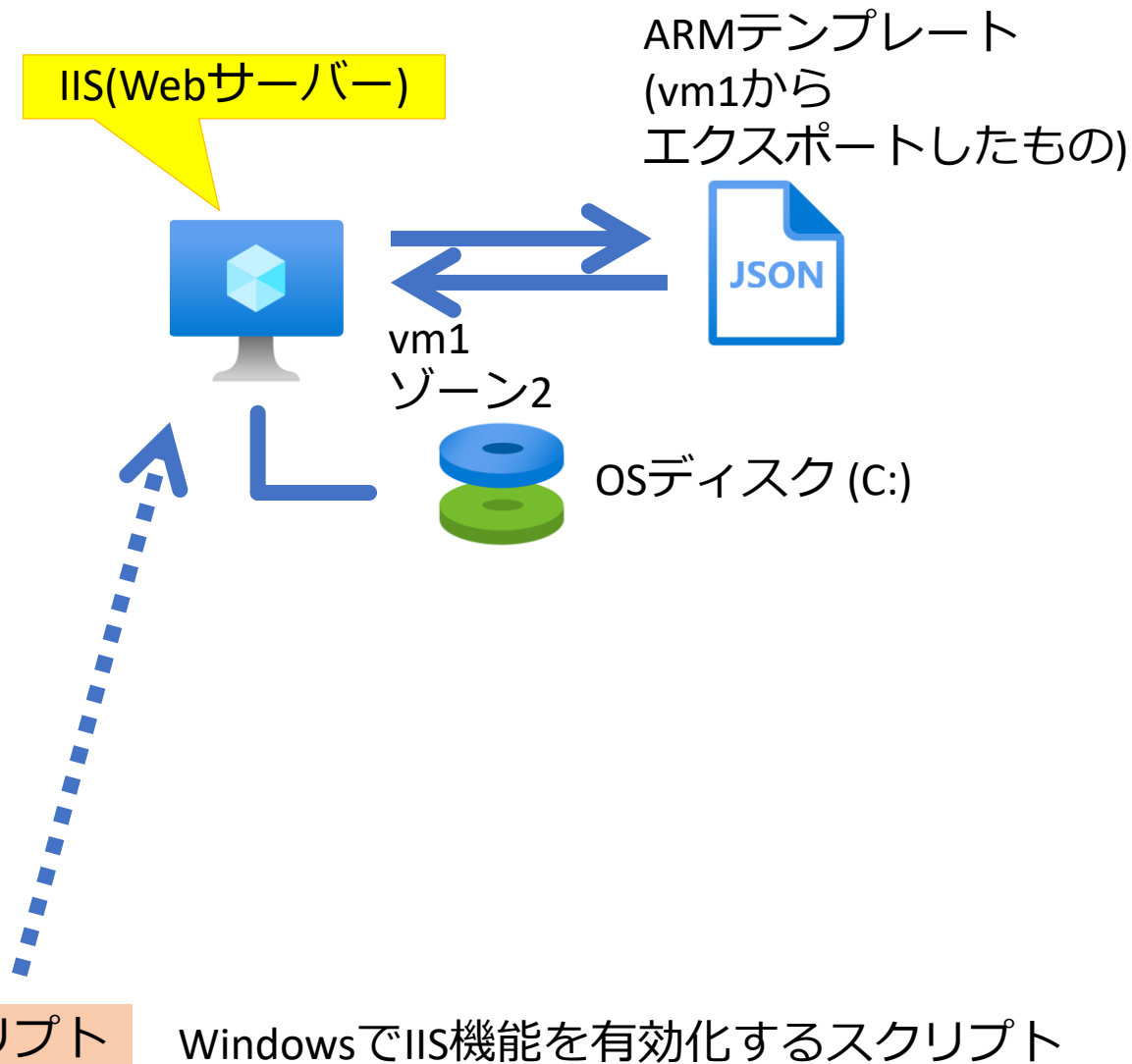


タスク2: IIS (Webサーバー) のセットアップ

- (1) PowerShellスクリプトをアップロード
- (2) 「仮想マシン拡張機能」を追加 (IISをセットアップ)
- (3) 「実行コマンド」でIISの動作を確認



- (4) VM1からARMテンプレートをエクスポート
- (5) ARMテンプレートで仮想マシン拡張機能を追加 (IISをセットアップ)
- (6) 「実行コマンド」でIISの動作を確認

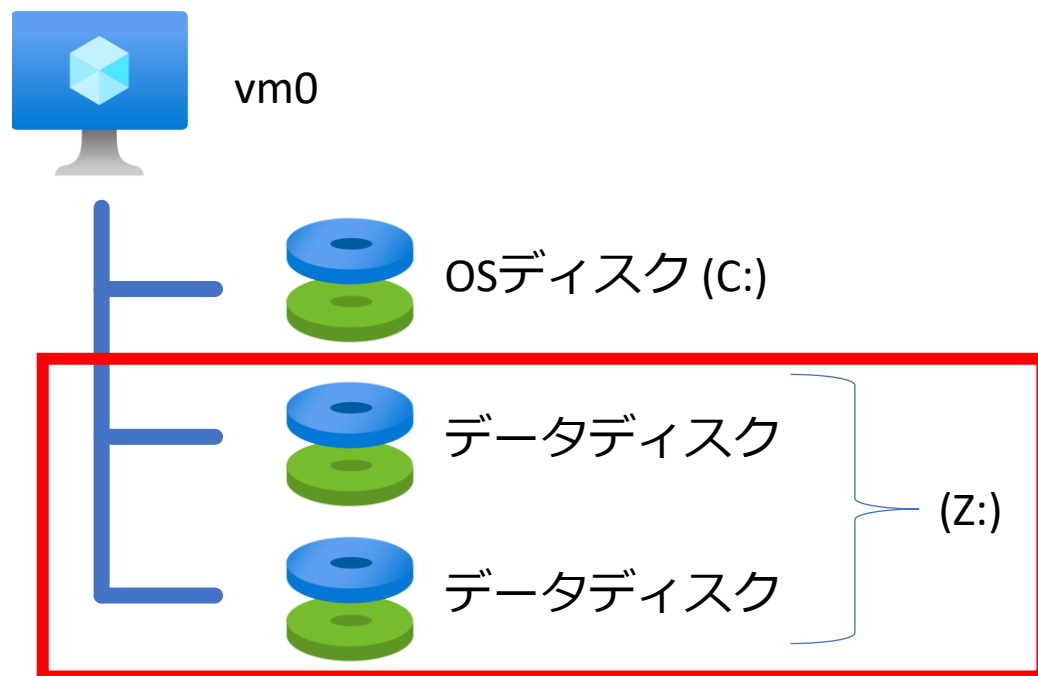


PowerShellスクリプト

WindowsでIIS機能を有効化するスクリプト

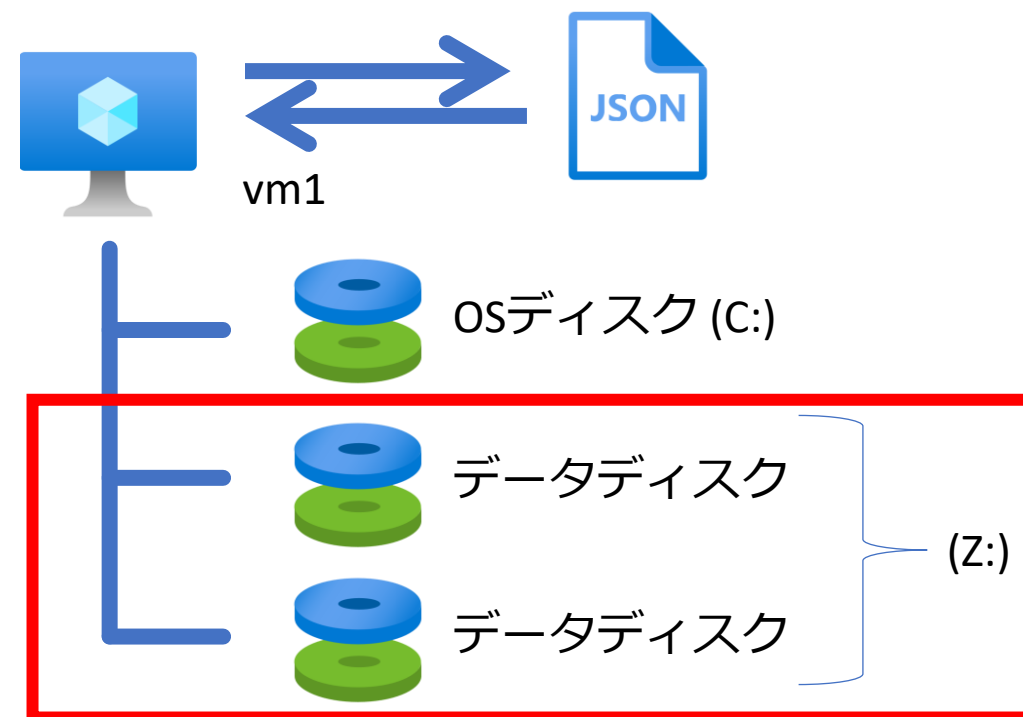
タスク3：VMのサイズ変更、データディスクの追加

- (1) Azure portalからVMサイズを変更
Standard_DS2_v3 → Standard_DS1_v2
- (2) Azure portalからディスクを追加



- (3) 「実行コマンド」でディスクを結合

- (4) ARMテンプレートをエクスポート
- (5) ARMテンプレートでVMサイズの指定を変更
- (6) ARMテンプレートにディスクリソースを追記
- (7) ARMテンプレートをデプロイ



- (8) 「実行コマンド」でディスクを結合

タスク1, 2, 3におけるARMテンプレートの使い方

- タスク1: 既存のリソース(vm0)作成時に作られたARMテンプレートに含まれるリソース名(vm0)をvm1に書き換えてデプロイ
 - → **新しいリソース(vm1)が作られる**
- タスク2: 既存のリソース(vm1)からARMテンプレートをエクスポートし、設定を変更（VMサイズの指定を変更）してデプロイ
 - → **既存のリソース(vm1)の設定が変更される**
- タスク3: 既存のリソース(vm1)からARMテンプレートをエクスポートし、追加のリソース（VM拡張機能、ディスク）を書き加えて、デプロイ
 - → **既存のリソース(vm1)にVM拡張機能とディスクが追加される**